

アスベスト被害の根絶をめざす 京都の会ニュース

2014年6月9日 第5号
アスベスト京都の会 発行
事務局: TEL075(662)5321
(京建労本部気付)

第二回
総会

全産業での掘り起こし、公正判決署名 1 万筆目標を確認 被害救済と根絶に向けた活発な議論

「アスベスト被害の根絶をめざす京都の会」の第2回定期総会が、5月14日にハートピア京都で開催され、17団体41人が参加しました。

総会では、はじめにドキュメンタリー映画「死の棘（とげ）ーじん肺と戦い続ける医師」の記念上映があり、石原会長による開会のあいさつ、建設アスベスト京都訴訟団からの訴えに続き、京都の会の活動報告があり、「全産業での被害掘り起こし、建設アスベスト訴訟公正判決署名（目標1万筆）の取り組み」を中心とした新

年度方針と新年度役員を全体で確認しました。 ※詳細は総会議案・特別報告レジメをご覧ください。



【参加団体】京都総評、職対連、京建労、医労連、民医連、自治労連、京教組、府高、全印総連、板硝子、全国一般、JMIU、国鉄退職者、立命館大学、自由法曹団、けいわん、きかんしコム

質疑討論・特別報告

質疑討論では3団体からアスベスト対策の特別報告がありました。ほかにも、石綿健康管理手帳交付者の受診医療機関の拡充や教育現場での被害掘り起こしの重要性についても発言があり、新年度方針が補強されました。

過去にアスベストばく露 68 人！医療現場実態調査で分かる (京都医労連)



京都医労連の坂田書記長からは、「医療現場におけるアスベスト健康被害に関する実態調査」について報告がありました。この調査は、2012～2013年に山口県と大阪府で元看護師が、手術用ゴム手袋を再利用する際に使用する粉末「タルク」に含まれたアスベストを吸い込んだのが原因で中皮腫を発症し、労災認定されたことが報道されたことをきっかけに、京都医労連の執行委員会等で議論を重ね、実施されることになりました。

実態調査は、2013年12月から2014年5月までの短期間に878人の組合員から回収することができ、「アスベストを使用する作業やアスベストが吹きつけられた環境での作業」をした人は68人、そのうち呼吸器の異常が「ある」と答えた人は10人となりました。

坂田書記長は、医労連として、この調査結果を発表し、マスコミを通じて多くの医療労働者に伝えることや、京都府や労働局に対して、「タルク」を使用した人への追跡調査や医療労働者への周知徹底を働きかけていく考えを示しました。

アスベスト画像「読影学習会」など多彩な取り組み(京都民医連)



京都民医連からは、事務局の佐々木氏より『アスベスト対策委員会』の活動について報告がありました。委員会は、明確な基準がない「胸膜プラーク」を見つけるために水嶋潔医師(みずしま内科クリニック)を講師に招き、胸部レントゲン画像の読影学習会を開催。ほかにも日本民医連作成の「アスベストDVD」を教材とした学習会や健康管理手帳制度など各種制度の学習会など、委員会として多彩な取り組みをおこなっていることが報告されました。

国鉄労働者に広がるアスベスト被害！業務災害 406 人に(国鉄退職者組合)



国鉄退職者組合からは京都支部の田中会長より、国鉄労働組合内の「対策会議」の設置や、国鉄を引き継いだ「鉄道運輸機構」との交渉や厚労省への要請などの取り組みについて報告がありました。

鉄道には大量のアスベストが使用されていましたが、労働者には知識もなく、何の対策もとられていなかったため被害は広がり、「鉄道運輸機構」による業務災害の認定者数は406人に上り、うち219人が死亡。裁判等により「遺族補償一時金制度」を創設させたことや、全国で退職者組合員の「健康管理手帳」取得を進めていることが報告されました。

たたかう仲間の紹介と訴え(建設アスベスト京都訴訟原告団・弁護団)

総会当日の朝に第5次提訴と第17回期日がおこなわれ、終了後に京都の会総会に駆けつけた原告団から寺前団長が、



日頃の支援のお礼と引き続きの支援の訴えをおこないました。

また、弁護団事務局長の福山弁護士(Ⓢ写真)が、建設アスベスト京都訴訟の現状と課題を同種の裁判との比較も交えながら説明しました。



「被害の広がり」と連帯を感じる総会」「絆を深めて前進させていきたい」

総会のまとめとして、石原会長(Ⓢ写真)より「被害の広がり」と連帯を感じる総会となりました。建設アスベスト訴訟も公正判決を求める署名は大きな力になります。京都の会としても連帯して取り組んでいきたい」と発言があり、最後に津島副会長(Ⓢ写真)が「京都の会は素敵な会だと思う。今後も絆を深め合って一步一步前進させていきたい」とあいさつし、総会を締めくくりました。



2014 年度役員体制(敬称略)

会長：石原 一彦(再・立命館大学政策科学部教授)
副会長：吉岡 徹(再・京都総評議長)、河口 隆洋(再・職対連会長)、津島 久孝(新・京都民医連中央病院副院長)、弁護士(新・自由法曹団)
事務局長：巽 肇(新・京建労本部書記局)
幹事：加盟団体より各1人
事務局：京都総評、職対連、いの健、京建労、(今後、補充)
会計監査：酒井 仁巳(再・京建労書記長)

署名スタート宣伝にご参加を！

6月22日(日)午前11時～12時まで四条烏丸にて、建設アスベスト京都訴訟の「署名スタート・府下いっせい宣伝」がおこなわれます。京都の会に参加する団体・個人のみなさんも、ぜひご参加ください。